

問1 日本の選挙制度における四つの原則のうち、有権者の持つ一票の価値に差を設けず、一人一票を原則として行われるものを何とよいか。（2019年 北海道公立入試 類似）

1. 平等選挙                      2. 普通選挙                      3. 直接選挙                      4. 秘密選挙

問2 現代の民主政治における選挙の原則のうち、有権者が一人で複数の票を持つことを禁じ、すべての有権者の投じる一票が等しい価値を持つことを保障する仕組みを何と呼びますか。（2016年 秋田県公立入試 類似）

1. 平等選挙                      2. 普通選挙                      3. 直接選挙                      4. 秘密選挙

問3 参議院議員選挙の選挙区制では、鳥取県と島根県、徳島県と高知県のように、隣接する県を一つの選挙区に統合する「合区（ごうく）」が導入されています。このような仕組みが必要とされる背景として、最も適切な理由を選びなさい。（2025年 沖縄公立入試 類似）

1. 人口の少ない地域の代表を確実に確保し、地方の意見が国政に反映されやすくするため。  
2. 地域ごとの人口格差によって生じる「一票の格差」を是正し、投票価値の平等をはかるため。  
3. 選挙区の数を減らすことで、選挙の実施にかかる公費や事務負担を削減するため。  
4. 小選挙区制に近い仕組みを導入することで、二大政党制を促進し政権交代を起しやすくするため。

問4 選挙制度の特性を「死票の多さ」と「政権の安定性」という2つの軸で整理したとき、小選挙区制が持つ一般的な傾向を説明したものと正しいものを選択してください。（2024年 岡山公立入試 類似）

1. 落選者に投じられた死票が多くなりやすいが、特定の政党が多数派を形成しやすく政権は安定しやすい  
2. 死票を抑えることで多様な民意を反映できるが、小政党が乱立して政権運営は不安定になりやすい  
3. 死票は少なくなりやすいが、二大政党制を促進する効果があるため政権は安定しやすい  
4. 死票が多くなりやすいため、民意との乖離が大きく政権の基盤は常に不安定になりやすい

問5 ある選挙において、1区では候補者Aが8.3万票、Bが8.5万票、Cが1.1万票を獲得し、Bが当選しました。また、2区では候補者Dが0.8万票、Eが8.2万票、Fが11.4万票を獲得し、Fが当選しました。このように、各選挙区の最多得票者のみが議席を得る制度の説明として、最も適切なものはどれか。（2016年 長崎県公立入試 類似）

1. 死票が多くなる傾向があるが、二大政党制になりやすく政権が安定する  
2. 得票数に応じて議席を配分するため、少数意見が政治に反映されやすい  
3. 一つの選挙区から複数の当選者を出すため、同じ政党から複数の候補者が立つ  
4. 候補者名ではなく政党名で投票を行い、名簿順位に従って当選が決まる

問6 日本の議院内閣制において、国会議員による選挙で選ばれた内閣が安定して政治を行うためには、議会の過半数の支持が必要となります。選挙の結果、一つの政党だけでは議会の過半数の議席を確保できなかった場合に、二つ以上の政党が協力して組織・運営する政権を何と呼びますか。（2017年 長崎県公立入試 類似）

1. 単独政権                      2. 連立政権                      3. 二大政党制                      4. 複数政党制

問7 衆議院議員選挙で採用されている「小選挙区比例代表並立制」において、比例代表制が果たしている役割や目的として最も適切な説明を選びなさい。（2016年 茨城県公立入試 類似）

1. 落選者の票である「死票」を減らし、政党への支持を議席数に反映させやすくする  
2. 政権交代が起こりやすい二大政党制を、より強固なものにする  
3. 個々の候補者の知名度や人格を、有権者が直接評価しやすくなる  
4. 一票の格差を完全に是正し、人口の少ない地域からの選出枠を確保する

問8 衆議院議員の小選挙区（例：山形1区、2区、3区）を画定する際、一つの選挙区に含まれる市町村の数は必ずしも均等ではなく、自治体の境界を越えて調整されることがあります。このように、自治体単位の区割りにこだわらず、複雑な境界線を引いてまで区割りを行う主な目的として、最も適切なものを選びなさい。（2022年 山形公立入試 類似）

1. 各選挙区の人口をできるだけ均等にし、一票の価値の格差を最小限に抑えるため。  
2. 面積が広大な山間部の意見が国政に反映されやすくなるよう、選挙区の面積を揃えるため。  
3. 市町村合併が進んでいない地域において、特定の政党が有利になるように調整するため。  
4. 比例代表制において、小選挙区で落選した候補者が重複立候補により復活当選しやすくするため。

## 答え合わせ・解説

問1	<b>答え 1</b> <b>平等選挙</b>	有権者が一人一票を持ち、その価値を等しく扱う原則のことです。これに対して「普通選挙」は、一定の年齢以上の全ての国民に（納税額などで差別せず）選挙権を与える原則を指します。また、候補者を直接選ぶ「直接選挙」や、誰に投票したかを知られないようにする「秘密選挙」とも区別して理解する必要があります。
問2	<b>答え 1</b> <b>平等選挙</b>	有権者の身分、財産、性別、人種などに関わらず、一人一票を徹底し、その一票の重みを均等に扱う原則を指します。これに対して、納税額などの条件を設けず、一定の年齢に達したすべての国民に選挙権を与える原則は「普通選挙」と呼ばれ、混同されやすい概念です。民主主義において、一人ひとりの意思が対等に政治へ反映されるための不可欠な制度的枠組みです。
問3	<b>答え 2</b> <b>地域ごとの人口格差によって生じる「一票の格差」を是正し、投票価値の平等をはかるため。</b>	一票の格差とは、議員一人あたりの有権者数が選挙区によって異なることで、一票の重みに差が生じる問題です。最高裁判所から「違憲状態」との判決が出されたことを受け、参議院では人口の少ない隣接県を統合する「合区」を行うことで、人口比に応じた議員定数の適正化を図っています。
問4	<b>答え 1</b> <b>落選者に投じられた死票が多くなりやすいが、特定の政党が多数派を形成しやすく政権は安定しやすい</b>	1議席を争う小選挙区制では、1位以外の候補者の票がすべて無効（死票）となるため、民意の切り捨てが起こりやすいという側面があります。しかし、その分だけ第一党が議席の過半数を確保しやすくなるため、閣僚の選出や法案の可決がスムーズに行われ、安定した政権運営が可能になります。対照的な性質を持つのが、得票数に応じて議席を配分し、死票を少なく抑える比例代表制です。
問5	<b>答え 1</b> <b>死票が多くなる傾向があるが、二大政党制になりやすく政権が安定する</b>	1区の事例では、当選したB以外のAとCに投じられた合計9.4万票は議席に結びつかない「死票」となります。このように小選挙区制では死票が多くなるという課題がありますが、大政党に有利に働くため、政権交代が可能な二大政党制を促し、安定した政権運営を可能にする目的で採用されています。
問6	<b>答え 2</b> <b>連立政権</b>	議院内閣制のもとでは、内閣は国会の信任を基盤として成立します。そのため、通常は衆議院で過半数を占める勢力が政権を担当します。一つの政党で過半数に達しない場合に、複数の政党が政策面などで合意を形成し、共同で政権を担う形態を連立政権といいます。これに対し、一つの政党のみで組織される政権を単独政権と呼びます。
問7	<b>答え 1</b> <b>落選者の票である「死票」を減らし、政党への支持を議席数に反映させやすくする</b>	小選挙区制は、最多得票者以外に投じられた票がすべて死票になるため、大政党に有利な制度です。これに対して比例代表制は、得票率に応じた議席配分を行うため、死票を抑えるとともに、小規模な政党の意見も議会に反映させやすいという利点があります。この両者を組み合わせることで、政権の安定と多様な意見の反映の両立を図っています。
問8	<b>答え 1</b> <b>各選挙区の人口をできるだけ均等にし、一票の価値の格差を最小限に抑えるため。</b>	選挙区の境界は、市町村の数ではなく「人口」を基準に決定されます。人口の多い都市部と、人口の少ない地方の間で「一票の価値」に大きな格差が生じないようにするためです。日本の最高裁判所は、一票の格差が著しい状態で実施された選挙に対し、「違憲状態」とする判決を出すことがあり、これを是正するために、一定の人口比率を保つように選挙区の再編（増減）が行われます。